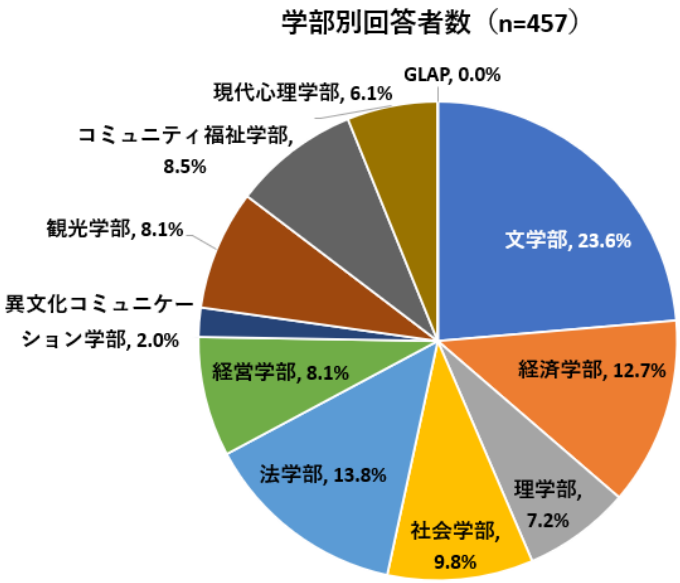
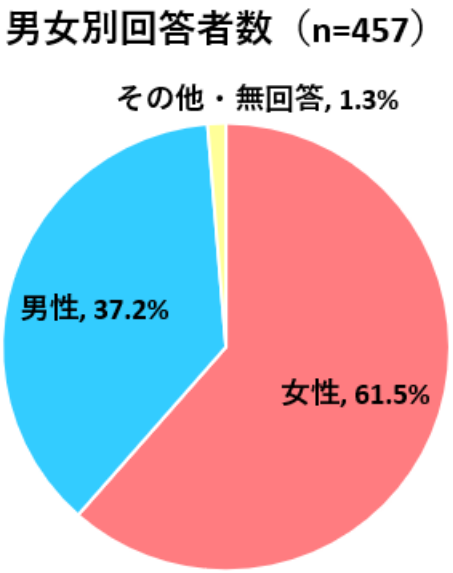
2026 年度　卒業後（卒業生）アンケート　実施結果報告（概要版）

立教大学では 2019 年度より、本学の教育およびキャリア支援のさらなる充実を図るため、卒業後（卒業生）アンケートを実施しています。今回は 2022 年度卒業の方を対象に調査を実施し、457 名の方にご回答いただきました。ご協力いただきました皆さまに心より御礼申し上げます。以下に本アンケート結果の概要を報告いたします。今回の結果を踏まえて今後の教育改善に活かしてまいります。

調査概要および回答者の属性

調査対象：本学を卒業してから 3 年を経過した、2022 年度卒業生（2022 年 9 月および 2023 年 3 月卒）のうち、校友会にメールアドレスまたは住所を登録している 4,317 名。
調査方法：校友会登録のメールアドレスおよび住所に回答依頼のメールとハガキを送付し、Web 上での調査への回答を依頼。
実施時期：2026 年 7 月 27 日～8 月 26 日
回答者数：457 名（回答率 10.6%）

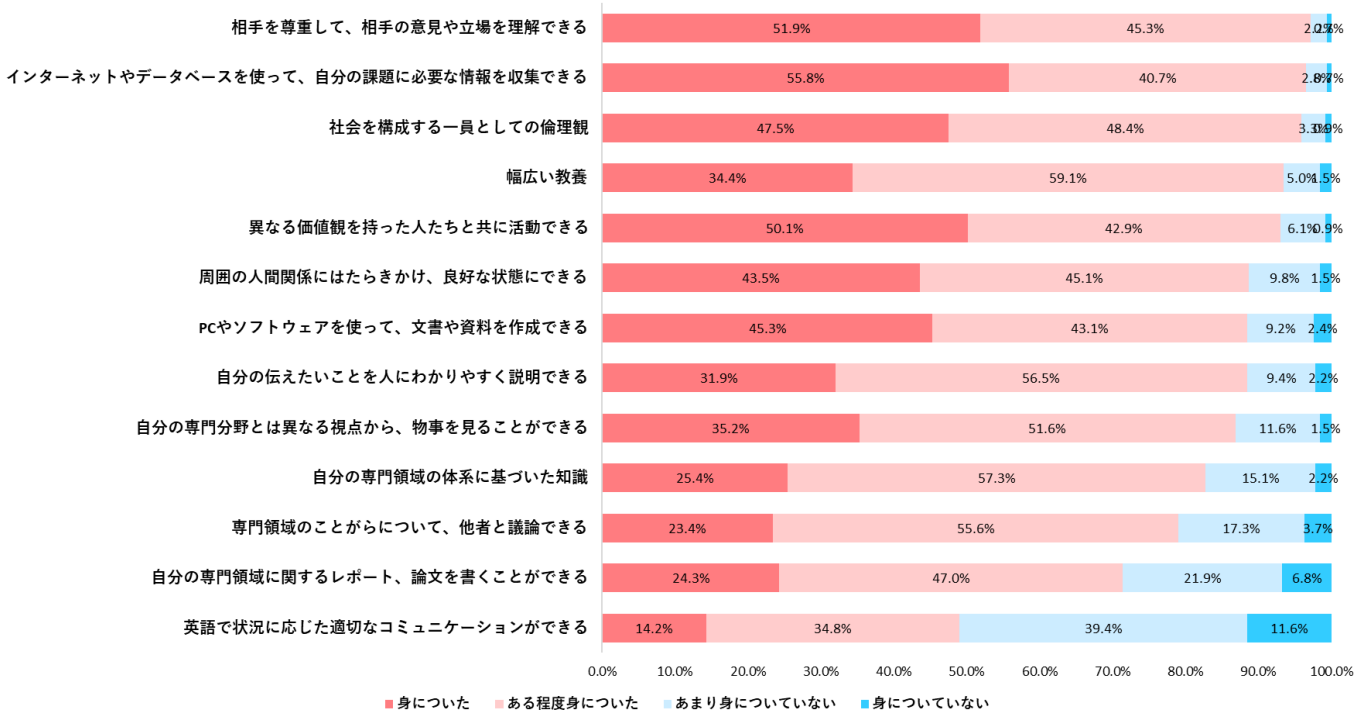




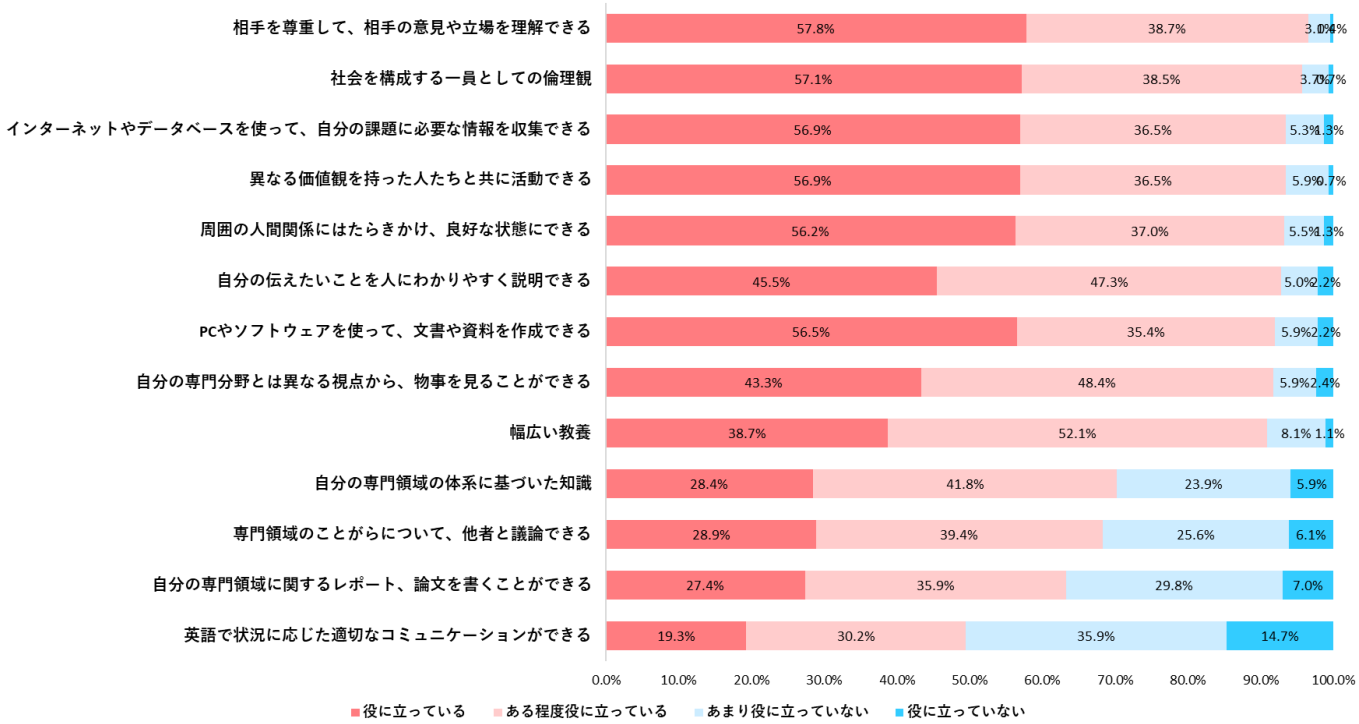
在学中の学びについて

在学中「身についたこと」と「現在どの程度役に立っているか」の回答傾向はほぼ対応しています。「相手を尊重して、相手の意見や立場を理解できる」、「インターネットやデータベースを使って、自分の課題に必要な情報を収集できる」といった項目の評価が高かった一方で、英語力や専門知識・専門領域に関するライティングなどについては課題のある結果となりました。

以下の項目それぞれについて立教大学在学中にどの程度身についたと思いますか（N=457）



立教大学在学中に学んだことは、今現在の仕事や生活にどの程度役に立っていると思いますか（N=457）



《自由記述の内容》

自由記述の内容をカテゴリー化したところ、以下の記述などが多くみられました。

★大学時代にもっと学習・経験しておいたほうがよかったことは何ですか（記述総数 454 件）

「語学」（105 件：例「英会話」「第二外国語」）

「留学・海外体験」（54 件：例「海外留学」「海外との交流、異文化経験」）

「他者・社会とのつながり」（48 件：例「人間関係づくり」「もっといろんなひとと会話しておきたかった」）

「専門分野の学習・知識習得」（36 件：例「専門分野の知識」「もっと学科の勉強をすること」）

「PC＆IT スキル（Excel や Word, PowerPoint, プログラミング, データ分析）」（35 件：例「PC スキル」「パワポ」）

★立教大学で過ごしてよかったと思うことは何ですか（記述総数 436 件）

「交友関係」（131 件：例「仲間ができたこと」「縦横のつながりが出来た点」）

「環境・設備」（90 件：例「キャンパスの雰囲気」「図書館などの施設の充実」）

「授業・ゼミ」（50 件：例「授業が面白かったこと」「ゼミで深く学べたこと」）

「多様な学びの機会」（44 件：例「専門領域以外の授業をとれること」）

「サークル・部活動」（30 件：例「サークル活動」「部活動」）

★ご自身が、立教大学の卒業生の強みと思われる点は何ですか（記述総数 361 件）

「大学の知名度・ブランド」（112 件：例「ネームブランド」「名の知れているところ」）

「仲間・校友とのつながり」（51 件：例「卒業生の輪がある」「OBOG との繋がりが強いと感じる」）

「知識・教養」（27 件：例「幅広い知識」「幅広い教養」）

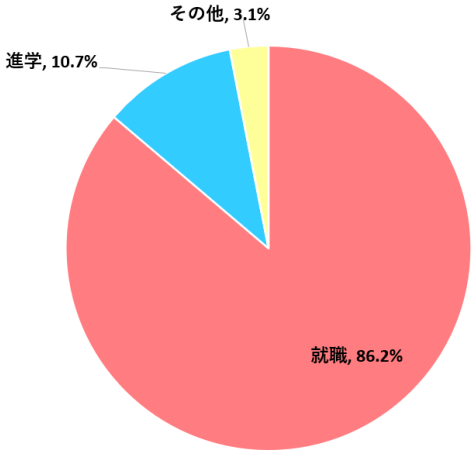
「多様性への理解・寛容性の高さ」（26 件：例「異文化への理解がある」「色々な人を受け入れる力」）

「適応力・柔軟性」（15 件：例「社会的適応力の高さ」「柔軟性」）

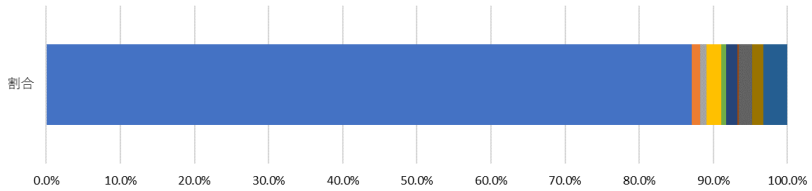
キャリアについて

キャリアについての質問では、現在の就業先に対する高い満足度が示されました。就業先で生成 AI を少なからず活用している人は 9 割を超え、そのほぼすべてが業務効率の向上を実感しています。また、全体の88.3%が大学教育でも生成 AI を扱う必要があると回答し、特に情報の批判的検証や基礎的能力の育成を重視しています。一方、全体の 18.8%が転職を経験しており、今後の転職・独立に積極的な回答も約 4 割を占めました。

卒業時の進路（n=457）

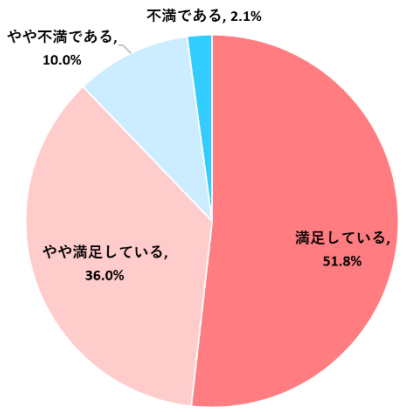


現在の就業状況（n=457）

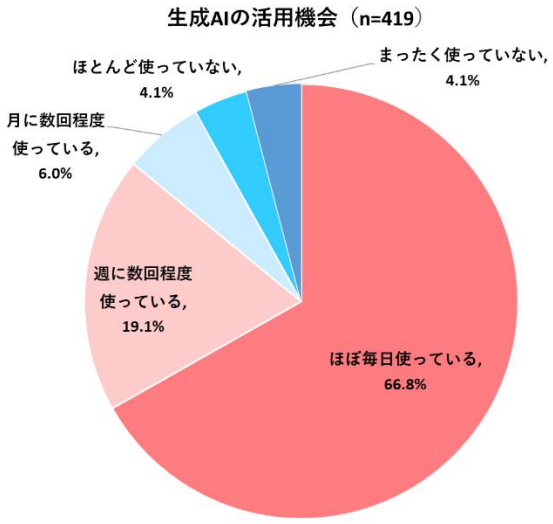


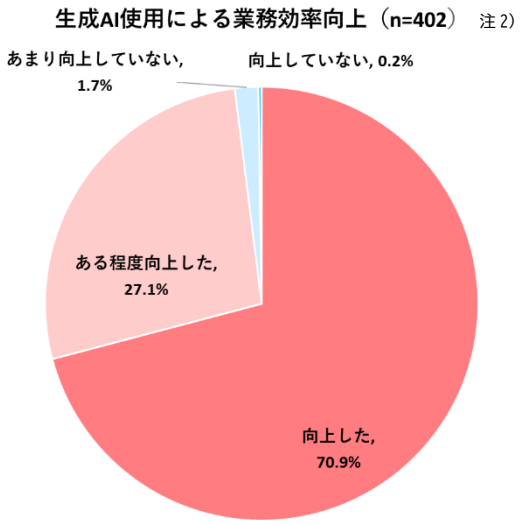
	割合
就業中（正社員）	87.1%
就業中（契約社員）	1.1%
就業中（派遣社員）	0.9%
就業中（パート・アルバイト）	2.0%
就業中（起業）	0.0%
就業中（その他）	0.7%
大学院在籍中	1.5%
就職活動中	0.2%
転職活動中	1.8%
資格試験・公務員試験の勉強中	1.5%
その他	3.3%

就業先に対する満足度（n=419） 注 1）



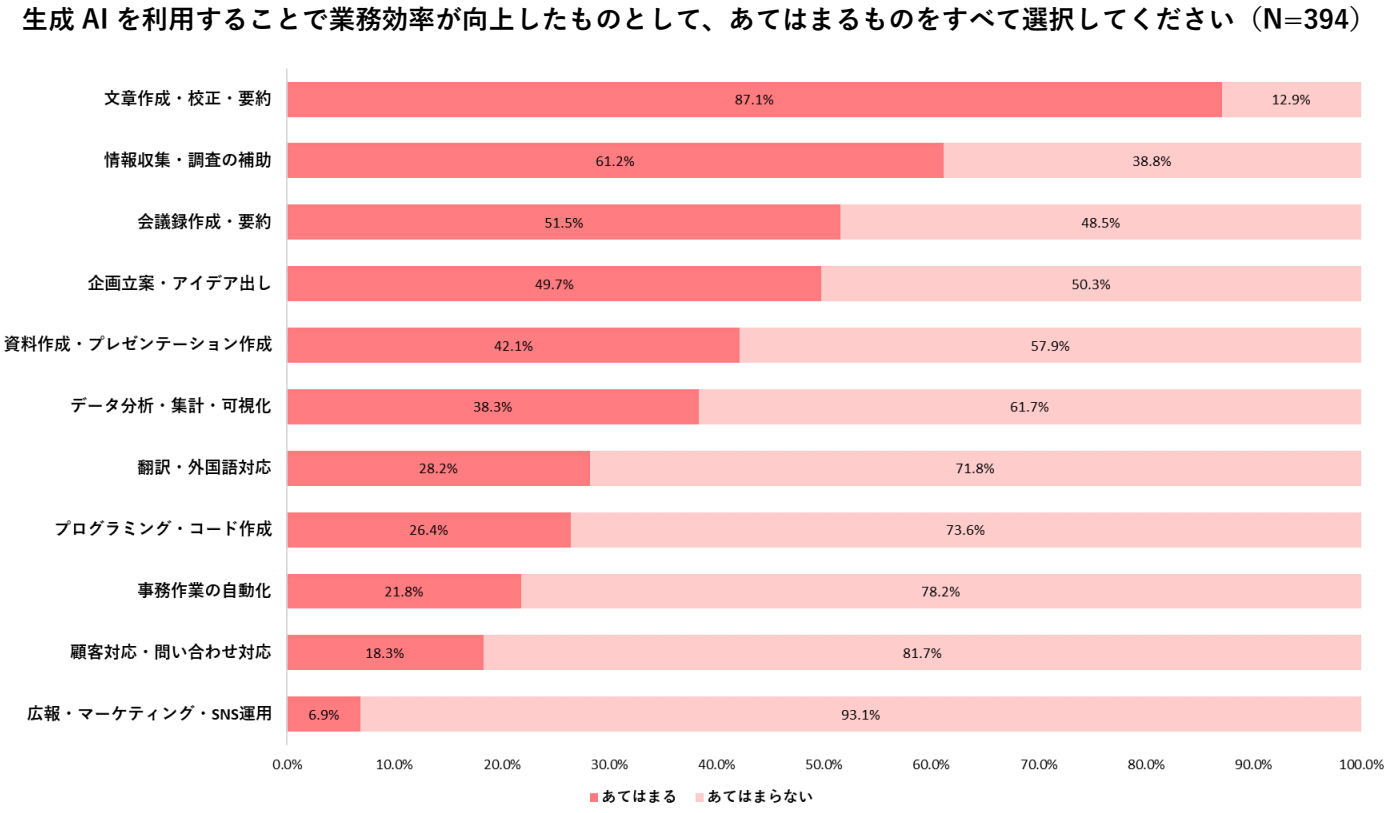
注 1）「就業先に対する満足度」は「現在の就業状況」の質問で「就業中」のいずれかを選択した者のみ回答。



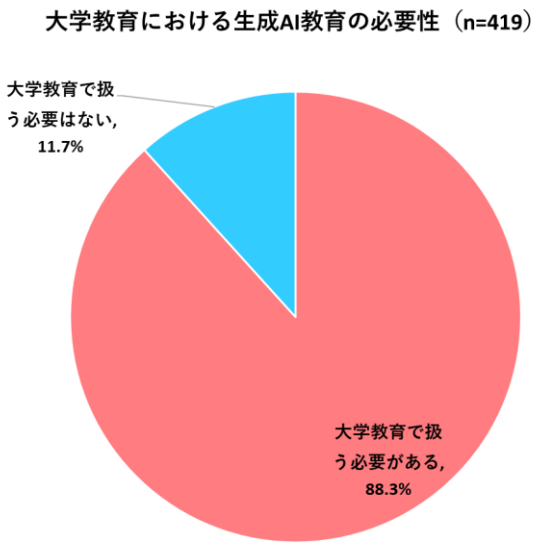


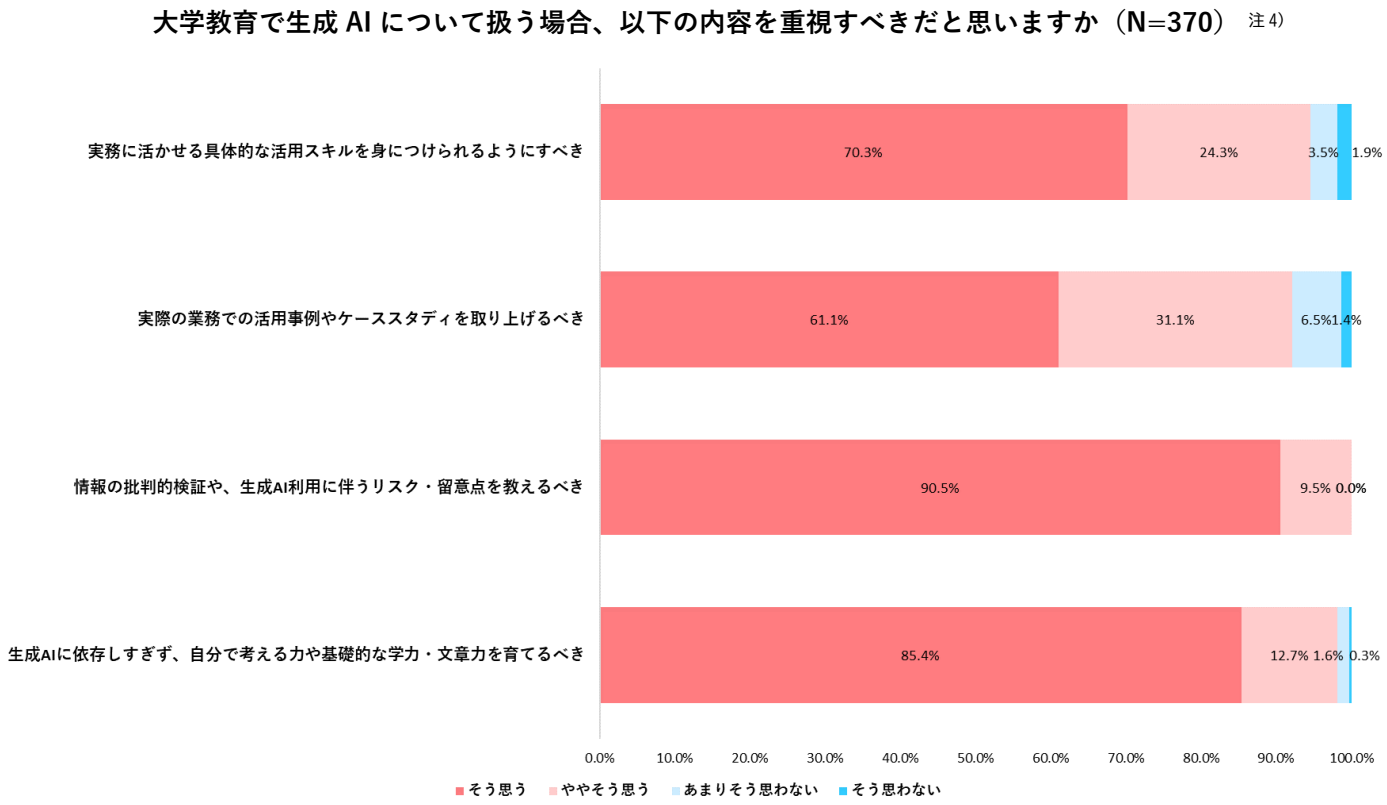
注 2）「生成 AI 使用による業務効率向上」は「生成 AI の活用機会」の質問で「ほぼ毎日使っている」「週に数回程度使っている」「月に数回程度使っている」「ほとんど使っていない」と回答した者のみが回答。

注 3）



注 3）「生成 AI 使用により業務効率が向上した業務」は「生成 AI 使用による業務効率向上」の質問で「向上した」「ある程度向上した」と回答した者のみが回答。なお、「あまり向上していない」「まったく向上していない」と回答した者には、その理由を自由記述で尋ねたが、回答が少数だったため省略。





注 4）「大学教育で重視すべき内容」は「大学教育における生成 AI 教育の必要性」の質問で「扱う必要がある」と回答した者のみが回答。

★大学教育で生成 AI について扱う必要がないと考える理由（記述総数 41 件） 注 5）

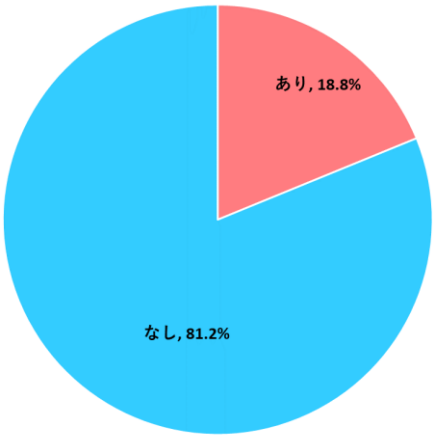
「思考力・主体的学習の低下への懸念」（16 件：例「自分の頭で考える力がなくなるから」）

「独学・日常利用で習得可能」（7 件：例「独学でも十分できるから」）

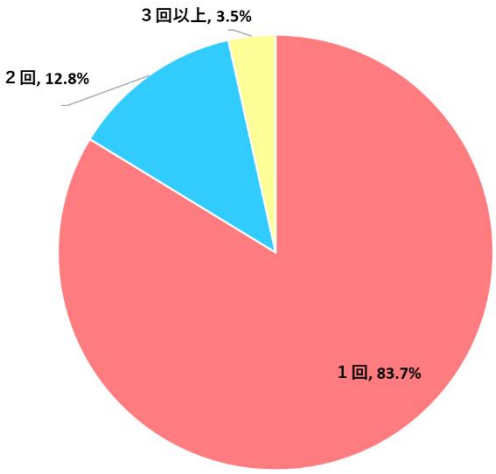
「大学教育の目的・優先順位との不一致」（6 件：例「学術専門領域の知見を深める大学教育との相性が悪い」）

注 5）「大学教育で重視すべき内容」は「大学教育における生成 AI 教育の必要性」の質問で「扱う必要がない」と回答した者のみが回答。

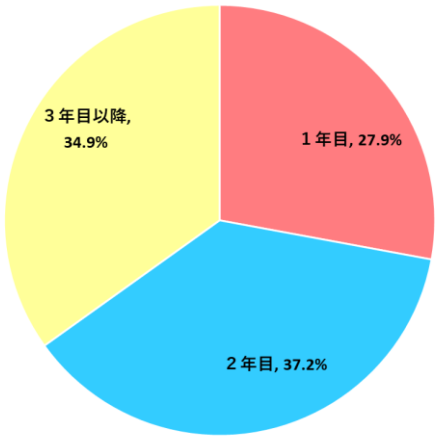
転職経験の有無（n=457）



転職回数（n=86） 注 6）



初回の転職の時期（n=86） 注 6）

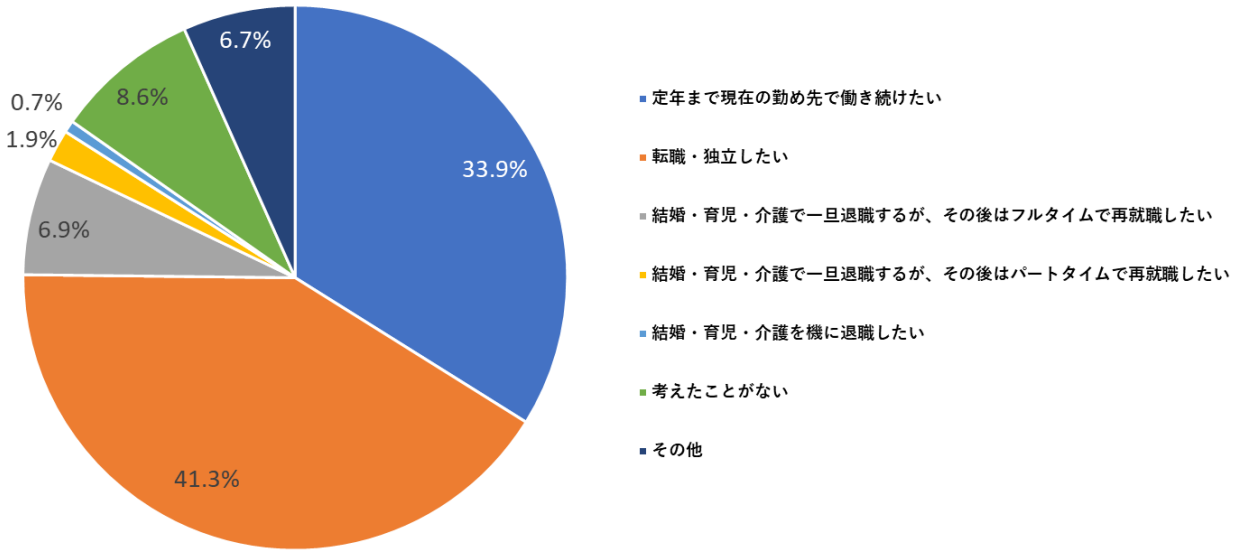


注 6）「転職回数」と「初回の転職の時期」は「転職経験の有無」の質問で「あり」と回答した者のみが回答。

★今後のキャリアについて

「転職・独立したい」を選んだ方が最も多く 41.3%、次いで「定年まで現在の勤め先で働き続けたい」が 33.9%、「結婚・育児・介護で一旦退職するが、その後はフルタイムで再就職したい」が 6.9%となりました。

今後のキャリアについて（n=419） 注 7)



注 7）「今後のキャリアについて」は「現在の就業状況」の質問で「就業中」のいずれかを選択した者のみ回答。

終わりに

あらためまして本アンケートにご協力いただいた卒業生の皆さまに感謝申し上げます。本アンケートを通して卒業生の皆さまの大学への思い・ご意見を伺うことができました。また、「大学時代にもっと学習・経験しておいたほうがよかったと思うこと」、「立教大学で過ごしてよかったと思うこと」、「立教大学の卒業生の強みと思われる点」、「生成 AI の使用により業務効率が向上していない理由」、「大学教育で生成 AI について扱う必要がないと考える理由」、「立教大学や本調査についてのご意見」に関する自由記述では、様々なご意見を賜りました。今後の調査のあり方や教育改善に活かしてまいります。ご回答いただき、誠にありがとうございました。

2026 年 10 月

集計・制作：立教大学　大学教育開発・支援センター　教学 IR 部会